

# PURE CHABLIS

*One grape*

*One region*

*One of a kind*

【プレスリリース】2022年1月13日

*Only from France*

## 2021 ヴィンテージ：あらゆる瞬間で注意を必要とした年

ぶどう栽培にとっての2021年は、最後の一日まで、生産者を不安にさせるものであった。ぶどう樹の生育の再開が早かったために被害が悪化した4月の霜に始まり、収穫まで、天候の急激な変化の速さをみせつけてきた。生産者は絶えず、注意深く対応しなければならなかった。

唯一気を休めることができた瞬間は、良い条件のもとで広がった開花と、8月中旬からの日照の恩恵を受けた色づきの時だけである。

霜で収穫量が減少したことに加えて、ぶどう畑とカーヴでとても丁寧な選果を行わざるを得なくなった。

7月と8月初めの気まぐれな天候により、病気が広がったためである。しかし幸いなことに、生産者の努力と8月中に乾燥した天候が戻ったことで、病気は抑えられた。



CP : BVB/MG Stavelot

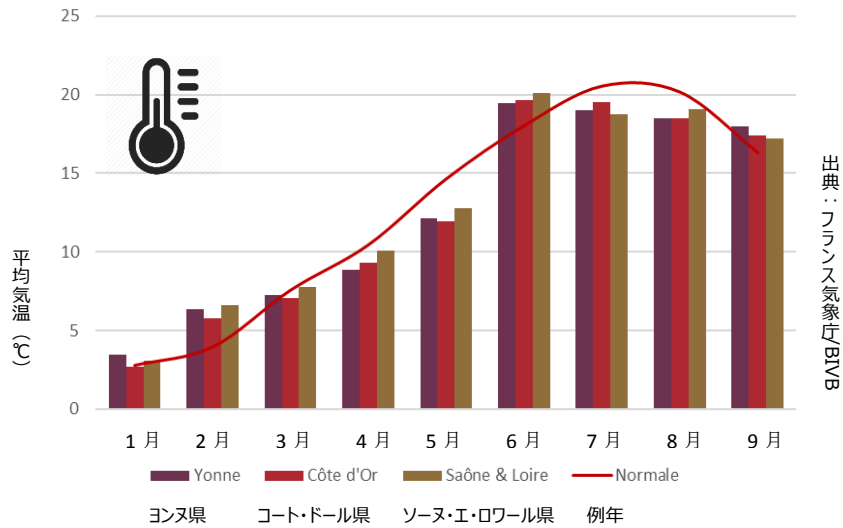
2021年は、まさしく専門性が要求される年であった。醸造はとても正確でなければならなかった。発酵が早くすすんだとしても、アロマのバランスに多大な注意を払わなければならなかった。

最初のテイastingで、その傾向ははっきりとしていた。シャブリ/ Chablis ワインに見られるフレッシュな柑橘類のニュアンスがあり、果汁のアロマの潜在的な可能性が存在、その上で糖と酸のバランスは、ブルゴーニュ/ Bourgogne ワインの愛好家が評価する典型的なものである。

暖かい冬の後、3月中旬にとっても寒くなり、その後に気温は再び大きく上がり、復活祭の週（3月29日～4月3日）には、夏のような気温となった。この状況下で、ぶどう樹は、例年に対して数日早く生育を始めた。このような発芽の早さが、もろい芽につながった。そして心配されていたことが突然起こった。4月6日、北極からの冷たい空気の塊に覆われたために気温が下がり、谷底では夜明けに-6°Cまで気温が下がった。生産者の必死の努力にもかかわらず、毎日新たな芽がやられてしまうという一連の長い霜との闘いの始まりに過ぎなかった。可能な場合、そして資金が許す範囲で、散水やろうそく、電熱ケーブルなどの対策が取られた。ブルゴーニュでは、ぶどう樹が、この春の霜の被害を受けた唯一の農作物というわけではない、ブルゴーニュ/ Bourgogne だけが損失を被った産地というわけでもない。

しかし、この戦いは長く、そして不当なもので、気温は時に-8°Cまで下がることもあった。

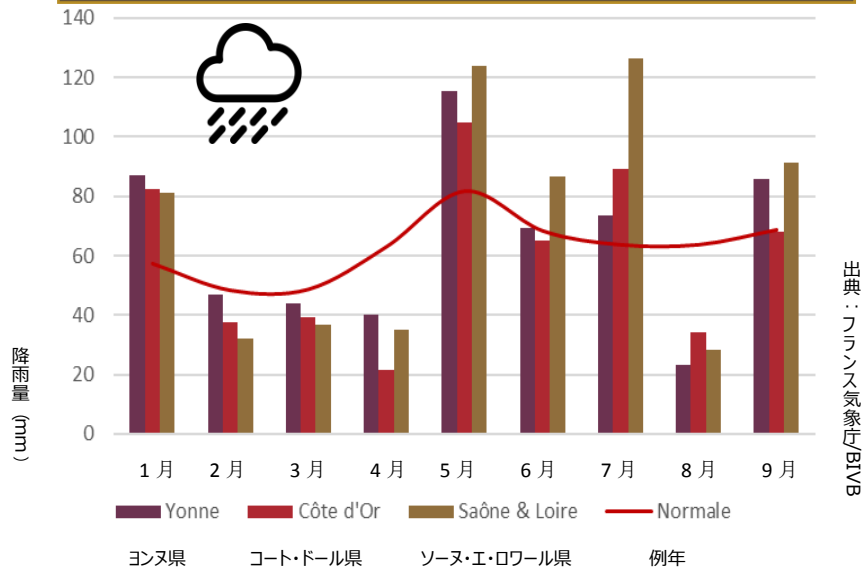
月の平均気温 (°C) – ブルゴーニュ/Bourgogne 2021  
 県別、例年との比較(シャブリ/Chablis はヨンヌ県/ l'Yonne)



5月初めは、気温が低いままだった。霜でやられたぶどう樹は、その生長を取り戻すことが難しかった。

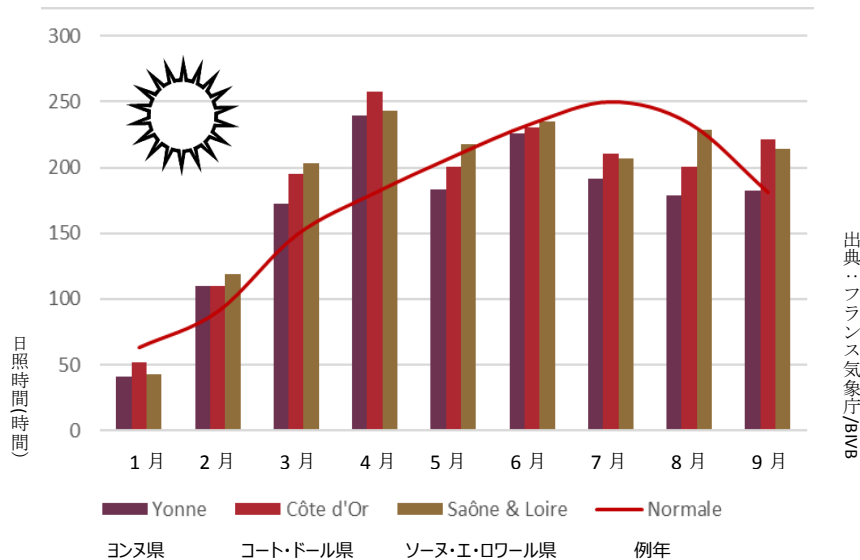
その後、6月の間は気温が上がったので、ぶどう樹は、春の霜のときから続いていた遅れを取り戻すことができた。開花は素早く広がった。7月は、雨が多かったために、ぶどう樹は生長を続け、つる性植物とし新梢が伸び、葉が多くなったが、果実は少なかった。このため、この植物が強いるリズムに合わせるために、倍の努力が必要であった。つまり、収穫量は少ないが、仕事量は、とてつもなく多かったのである。

月の平均降雨量 (mm) – ブルゴーニュ/Bourgogne 2021  
 県別、例年との比較(シャブリ/Chablis はヨンヌ県/ l'Yonne)



湿気により、病気も広がった。8月半ばに雨がやみ、生産者が一心不乱に行った努力により、病気の広がりには抑えられた。9月の最初の2週間、ぶどうの熟度はほとんど上がらなかった。

## 月の平均日照時間(h) – ブルゴーニュ/Bourgogne 2021 県別、例年との比較(シャブリ/Chablis はヨンヌ県/ l'Yonne)



収穫は2週間遅く、9月20日頃に始まり、すぐに終わった。収穫をスムーズに進めることは難題であった。収穫人があまりいない、ぶどう樹の状況にはばらつきがある、一つのタンクを満杯にするのに複数の区画を収穫しなければならない、などの問題があった。タンクには、(通常の)収穫量の半分しか入れることができなかった。春の霜が主な原因であった。

ぶどうがカーヴに到着すると、選果が行われ、正確に醸造され、アロマのバランスに多大な注意が払われた。シャブリ/Chablisの典型的な目印といえるワインの張りは、しっかりと存在し、かなり涼しかった天候のおかげで維持されている。このヴィンテージは、収穫量は歴史的に少ないが、その特徴は典型的と言える。

[www.chablis.jp](http://www.chablis.jp)

Françoise Roure  
Bureau Interprofessionnel des Vins de  
Bourgogne (BIVB)

Tél. : +33 (0)3 86 42 42 22  
E: francoise.roure@bivb.com  
Twitter : @PureChablis  
Instagram : @VinsdeChablis  
#PureChablis



VINS DE  
BOURGOGNE